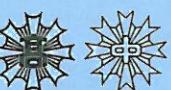


百周年記念館竣工！

「北陵館」と命名



同窓会報

第34号

発行 宮城県仙台第二高等学校
同窓会事務局
仙台市青葉区川内瀬橋通一
☎ 二二一一五六五（直通）
創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区大手町六番二号

創立百周年記念館がついに完成した。平成九年十二月に建設委員会を立ち上げ以来、四年の歳月をかけ、ついに悲願の記念館が完成した。

ここにいたるまで、たくさんの方々に御協力、御支援をいただき、建設費用については、同窓会、歴代の保護者、法人・企業、教職員、それぞれの方から、多大のご寄付を仰いでいる。設計については、針生承一建築設計事務所に、建築に関しては株木建設株式会社のご協力をいただいた。皆様方の仙台二高に対する熱い思いがここに結実したこと、心から御礼申し上げたい。また仙台二高の新世紀への門出を飾るにふさわしいっぱな記念館が完成したこと、関係者一同で喜びあいたい。

（記念館の詳しい内容につ

十三年度同窓会総会開催 会長に西澤潤一氏（中44回卒）を選任

十三年度同窓会総会は七月二十八日（土）に百周年記念館竣工記念式典に引き続き新記念館の大ホールで開催された。

今年度総会は昭和五十八年以来、永年、同窓会発展に尽された堀田康哉会長の退任に伴う新同窓会長として、西澤潤一氏（中44回卒）を選任、

併せて堀田前会長を名誉会長、同じく退任された藤原副会長を顧問に選任することが提案され全会一致で承認可決された。総会後の懇親会は会場を仙台ホテルに移し、記念館竣工祝賀を行われた。お祝いにふさわしい「加茂太鼓」の演奏が披露されて盛大な祝

いては、本誌の4ページ以降に掲載）さて、記念館の竣工記念式典は七月二十八日（土）午後二時から記念館において、同窓生の浅野史郎知事の出席のもとに行われ、堀田同窓会会長、佐藤三之校長・湊PTA会長・設計の針生承一氏、生徒代表等により一齊にテープカットされた。式典の始まる前から多数の同窓生が来館し、完成したばかりの記念館のすばらしさに感嘆の声をあげていた。

なお、百周年記念館の名称については、公募制の形をとり、百周年実行委員会で検討を重ねた結果、「北陵館」となった。生徒の利用はもちろん、同窓生諸氏の利用もよろしくお願いしたい。



熱い思いと生きざまの実演を 会長就任にあたって

同窓会会長
西澤潤

潤一

よって百周年を記念した見事な北陵館も完成いたしました。その随所に、先輩の込められた後輩に対する熱い思いを観た後輩に対する熱い思いを観ることが出来ます。

もえらえるかを心配しなければ
ならなくなつて来ております。
本校の伝統として目指す文
武一道における進歩を確実に
するためには、勿論生徒諸君
の苦難に耐えて目標貫徹する
自らの意志と工夫が第一であ

光栄ある東北の名門校である仙台二中・二高同窓会会長としてお引受けすることとなり、正に運命の意外さに驚かされると共に、その責任の重さを

仙台一中は創設の頃、ひとり宮城県のみに留まらず、広く東北地方から多くの人材を受け入れたことは、よく知られていたことです。そして、それから数えて百年の長きに亘って、東北地方から数多くの人材を育て上げ、国内外に活躍して、世界的貢献を尽くして今日に至りました。

しかし、その卒業生に共通
範的存在と云える三船久藏九段や、世界的映画人としてハリウッドで活躍した上山草人
の両先輩のお名前を挙げれば、容易に、その広さが理解できます。

るものが井上成美提督ではないかと思っております。提督は軍事面よりも軍政面で海軍史の中でも屹立する貢献を果されたと申し上げても決して云いすぎではないと信じております。

組閣の大命を拝しながら、陸軍の妨害に遭つて結果的には戦争回避の果たせなかつた阿部敏仁陸軍大将を義兄に持つておられた井上提督は、自らも正に身の危険を顧みるゆとりさえない儘に開戦回避のため正に粉骨碎身されましたが、努力実らず前線司令長官として第四艦隊に送り出されるや珊瑚海海戦で艦隊決戦最後と云つてもよい優勢勝ちを収められましたが、海軍兵学校校長に任命されるや、一貫

るものが井上成美提督ではないかと思つております。提督は軍事面よりも軍政面で海軍史の中でも屹立する貢献を果されたと申し上げても決して云いすぎではないと信じております。

した。反戦の政策を堅持しながら、その行動は全く海軍軍人としての制約を超えることがなかつたのではないかと思ひます。これこそ正に最高の順法精神と、最強の勇気を持つ人間にしか出来ない、理想主義とでも云うべき近代社会人の姿ではないかと思ひます。

たが、多くの先輩の御努力に
よって百周年を記念した見事
な北陵館も完成いたしました。
その随所に、先輩の込められ
た後輩に対する熱い思いを観
ることが出来ます。

しかし、反面、第一の敗戦
と云われた経済崩壊は、いつ
こうに回復の兆しを見せない
のに、更に精神社会の矛盾が
解決されないことがテロ行為
に発展し、これが再に経済崩
壊を倍加させております。世
の中の大人共である我々は、
もらえるかを心配しなければ
ならなくなつて来ております。
本校の伝統として目指す文
武一道における進歩を確実に
するためには、勿論生徒諸君
の苦難に耐えて目標貫徹する
自らの意志と工夫が第一であ
ることは申すまでもないこと
であります。我々も、先生方
を中心にして、暖かい心で生
徒諸君の涙ぐましい努力を見
守り、自主性を守り育てなが
ら、それなりの協力を続けて
いかねばならないと思ひます

母校・同窓会への貢献に感謝
堀田会長・藤原副会長ご勇退

同窓会副会長

石井敏夫

昨年十月二十四日、宮城県仙台第二高等学校の創立百周年記念式典が、宮城県民会館において盛大に挙行されました。創立百周年記念事業実行委員会の会長及び副会長として此の大事業を陣頭指揮された、堀田、藤原両先輩が内々て辞意をもらられたのは十一月中旬だったと思います。そ

のご意向を受け、副会長全員で協議を行い、「記念館完成時期に合せて行なわれる同総会総会で会員の皆様におはかりする」ことに致しました。

本年七月二十八日、記念館落成記念式典と併せて挙行された同窓会総会に於いて、両先輩のご勇退が承認され、西澤潤一新会長をお迎えする事

が議決されました。

昭和五十年に実施された創立七十五周年に記念事業や、同窓会活動の活性化のうごきを受け、昭和五十三年の総会で、創立八十周年的行事



や校舎改築の大事業に備え、金子同窓会長の下に、堀田、藤原両先輩の他、石井、菅野の四副会長の人事が決定されました。其の後、昭和五十五年、八十周年記念式典が盛大に挙行された際、山本知事より示された、新校舎建設の方針を受け、堀田、藤原両先輩の並々ならぬご活躍が始まりました。

「期成委員会」を発足させ、堀田、藤原両先輩はその中心的なメンバーとして指導的な立場で大活躍され、高橋元校長の示された「建設三原則」にのっとり、二十一世紀の高校教育の御手本となる校舎改築

其の後九十周年の記念式典等を経て、整備された名簿を活用した会報全員配布による広報活動や、在京同窓会の活発な活動及び各地支部同窓会の活性化や、会費納入の潤滑化など、同窓会活動の中心には常に、堀田、藤原両先輩がおいでになり、特に創立百周年記念行事に当っては、準備委員会の段階から、熱心にご指導いただきました。その百年周年の記念行事も、記念式典、記念館建設と大事業を完成されました。本当に有難うございました。関係者一同、心から御礼申し上げます。そして、堀田、藤原両先輩の仙台一高並びに同窓会に寄せられた熱意と愛情は、関係者ひとしく感服するところであります。今後とも益々御元気で仙台一高同窓会の活動を御支援いただきたいと思います。

A circular portrait of a man with glasses and a suit, identified as the 19th principal of the school.

校
二

本年四月に第十九代校長として着任しました佐藤三之（かずゆき）です。本校の高校十四回卒です。よろしくお願い申し上げます。名前の「三」の読みについては、初対面でよく尋ねられますが、漢和辞典には、人名では、「み・みつ・ただ・かず」と読むと記されていて、昔からの読み慣わしのようです。もちろん三男です。高校の教員としてスタートましたが、本年三月までの三年間を含め、通算十一年間の県教委勤務の後の久々の学校勤務となりました。気を引き締めてしっかり取り組んで参るつもりです。さて、四十年ぶりに母校に戻り心強く感じたことは、牛徒の日常活動の随所に伝統が生きていることでした。儀式や行事の際など、どんな場面でも自校の校歌や応援歌を大きな声で堂々と歌える点に、

四十年ぶりの母校

校長佐藤三之

(高14回卒)

彼らの「二高生としての自信と誇りを感じることができま

伝統です。ある大学の先生から、二高出身者は、他県出身の学生に比べて、高校時代の良い思い出をたくさん持つているように思われるというお話を伺い、宜なるかなと合点した次第です。



百周年記念館「北陵館」

特集
4~7P



記念館竣工を祝して —高校生活の充実と発展に寄与—

宮城県仙台第二高等学校
創立百周年記念事業実行委員会 会長 堀田 康哉

本日、ここに宮城県知事浅野史郎殿を初めとして、多くのご来賓の皆様方のご臨席を賜り、宮城県仙台第二高等学校創立百周年記念館の竣工記念式典を挙行できることは、百周年記念事業実行委員会会長であります私の最大の喜びとするところであります。

さて、この百周年記念館は仙台二高の生徒諸君の合宿、勉学、クラブ活動、集会、諸行事等に資することを目的に四年前に計画されました。その間、建築に伴う費用に関しましては同窓会の皆様方、歴代の保護者の皆様方、法人・企業の皆様方、教職員の皆様方に多大のご寄付を仰ぎ、建物の設計に関しましては針生承一建築研究所に、本体の建築に関しては株木建設株式会社のご協力のもと、仙台二高の百周年を飾るにふさわ

しい建物としてここに完成いたしました。百周年記念事業実行委員会長として皆様方のご協力、ご援助に衷心より感謝申し上げます。

振り返りますと、本校創立百周年記念事業は、先駆け事業としての校内冷房設備の設置、白雲崖の桜の植え替え、蔵王遭難供養塔の再建に始まり、百周年を迎えた昨年度の「百周年記念コンサート・シンポジウム」そして「百周年記念式典」で大詰めを迎え、本日ここに完成なった百周年記念館の建設においてその結果を見ることとなりました。ところで、私は自らの人生の後半を、母校仙台二高の、この百周年記念事業の成功に向け、心血を注いできたつもりでおります。そしてここにこうして多くの皆様方のご協

施設概要

スタッフ

設計監理：(株)針生承一建築研究所・名取デザインスタジオ

構造設計監理：(株)S.D.G

設備設計監理：(株)総合設備計画 東北事務所

施工工：株木建設株式会社 東北支店

建築概要

構造規模：RC造+一部SRC・S造 地上2階建

面積：敷地面積 11,727.21 m² 建築面積 880.386 m²
延床面積 927.085 m²施設概要：1階：宿泊室・食堂・厨房・勉強室・同窓会事務室 等
2階：宿泊室

仙台二高生」と称されるにふさわしく、近代的、かつスマートな百周年記念館を目にすることは私にとって最大の喜びであります。

仙台二高の生徒諸君、そして教職員の皆様におかれましては、この記念館をどうか存分に使いこなして下さい。そして是非ともこの百周年記念館での高校生活におけるすばらしい思い出をたくさん作って下さい。

そのことは必ずや、仙台二高の一世纪に亘るすばらしい歴史と伝統に、更に花を添えることとなるでしょう。

それでは、この完成

なった百周年記念館が

生徒諸君の高校生活の充実と発展に寄与すること大なることを祈念

するとともに、あらためてこの百周年記念館

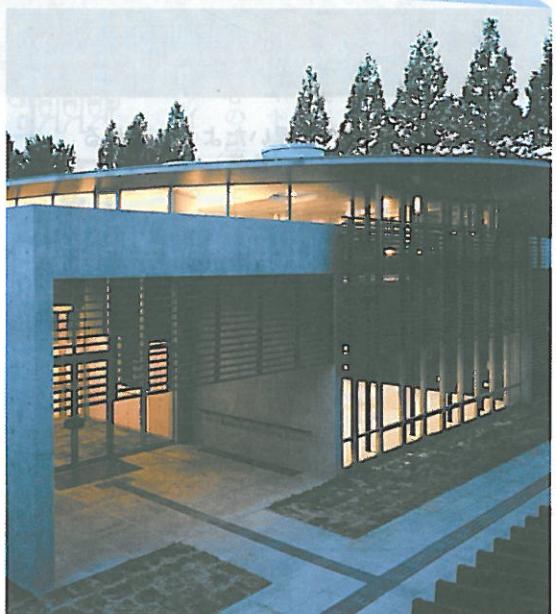
にご協力を賜りました

多くの皆様方に心より

の感謝を申し上げ、私



質実剛健を形に緊張感創出



玄関側外観

黒基調に
シャープさ
演出
フレキシブルに
利用できる
非限定空間

仙台第二高等学校百周年記念実行委員会が建設を進めていた宮城県仙台第二高等学校創立百周年記念館が完成した。仙台市青葉区青葉山の県立美術館に隣接した豊かな緑に包まれた校内の一画に建ち、シンプルで端正な表情を見せており。設計は針生

一建築研究所が担当。合宿や研修、地域交流など多様な利用にフレキシブルに対応する非限定空間を形成するところに、コンクリート打放しの

グレーと黒を基調とした内外装が校風の質実剛健で緊張感のある空間をつくりだしている。施工は株木建設。確かな技術と妥協を許さない姿勢で設計者の意図するものを具現化した。

1997年12月から計画づけられた。

高等学校創立百周年記念館が完成した。仙台市青葉区青葉山の県立美術館に隣接した豊かな緑に包まれた校内の一画に建ち、シンプルで端正な表情を見せており。設計は針生

一建築研究所が担当。合宿

や研修、地域交流など多様な利用にフレキシブルに対応する

非限定空間を形成するところに、コンクリート打放しの

グレーと黒を基調とした内外

装が校風の質実剛健で緊張感ある空間をつくりだしている。施工は株木建設。確かな技術と妥協を許さない姿勢で設計者の意図するものを具現化した。

1997年12月から計画づけられた。

高等学校創立百周年記念館が完成した。仙台市青葉区青葉山の県立美術館に隣接した豊かな緑に包まれた校内の一画に建ち、シンプルで端正な表情を見せており。設計は針生

一建築研究所が担当。合宿

や研修、地域交流など多様な利用にフレキシブルに対応する

非限定空間を形成するところに、コンクリート打放しの

グレーと黒を基調とした内外

装が校風の質実剛健で緊張感ある空間をつくりだしている。施工は株木建設。確かな技術と妥協を許さない姿勢で設計者の意図するものを具現化した。

1997年12月から計画づけられた。

2つのグループおよび他校との合宿が出来るよう2棟に分け、その間に中庭を配した。それぞれの棟の内部はロールスクリーンで4部屋に仕切ることが可能で、フレキシブルな利用、また自習のための静かな空間の確保にも配慮した。室内はスカイライトとハイサイド、さらに南面の大きな開口部からの柔らかい光で包まれる。また、シャワー室を両サイドに配置するとともに、段差を無くすことでバリアフ



球面の天井が浮いたように架かる
多目的ホール（食堂）

ブルに利用できる非限定空間を目指した。南北面をガラス面とすることで、視覚的にもより開放的な空間を構成し、中庭との連続性を高めた。

楕円形の天井は、音の拡散反射を考慮し、音響シミュレーションを行い、懸垂型球面とした。壁と天井の間にハイサイド窓を設け、球面の天井に浮遊感を持たせている。また、18個の天窓から昼間は太陽光

が射し込み、夜間は天窓内に設けた照明が室内を照らす。遮光については屋上からキャンバスをかけて行う。

仕上げには自然素材を使うとともに、色彩も黒を基調とし、校風の質実剛健で緊張感のある内部空間を醸し出し、また、外部も木製ルーバーや壁の一部に黒色を使い、シャープで引き締まった表情を演出した。

（針生承一建築研究所主宰・



中庭を囲むように配置された多目的ホール（正面）
と両側の合宿室

食堂（他目的ホール）は、合宿時の食堂および校内諸行事、同窓会や各種講演会などの利用とともに、地域交流、ギャラリーを含めた美術関係展示会、ミニコンサートなどにも対応できるよう計画した。

また、北側の勉強室との間を可動間仕切りとし、食堂との一体的な空間としての利用を可能としており、合宿・研修施設として同様にフレキシ



合宿室

リーに対応している。



2 グループ対応の調理施設

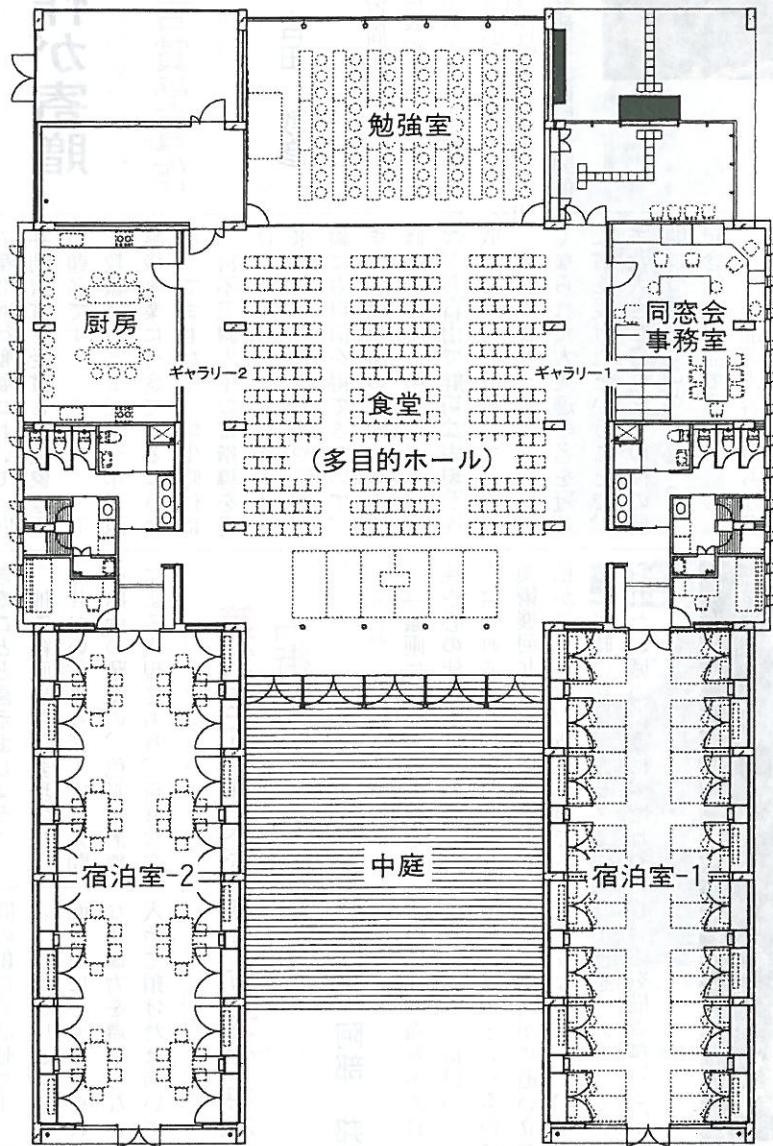


勉強室



同窓会事務室

1階平面図



「安全第一」と「設計者の意図の具現化」、この二点を施工方針として工事に臨んだ。食堂・勉強室に架かる薄く浮遊感のある屋根と球面の天井の施工が最大のポイントとなつ

た。船底をヒントにした独自の工夫で型枠を組み、設計で示された球面を具現化するとともに、コンクリートの品質および打設にも細心の注意を払い、ハイサイドライトから

の光に映える滑らかで美しいコンクリート打放しに仕上げた。また、ハイサイドライトのサッシと天井の精緻な取り合いにも万全を期し、高精度を確保した。

一方、安全についてもきめ細かな安全活動を展開し、全

生、PTA、同窓生、教職員、設計スタッフ、施工スタッフの有志約80名が参加し、建物周囲約1000平方㍍の野芝張りを行い、工事を締め括った。

施工方針

なお、7月15日早朝、在校生、PTA、同窓生、教職員、設計スタッフ、施工スタッフの有志約80名が参加し、建物周囲約1000平方㍍の野芝張りを行い、工事を締め括った。

工期無事故無災害で竣工を迎えた。



「作品97-8 · 開」
記念館ホールに設置



百周年記念で受賞作が寄贈 第52回行動展・向井潤吉賞受賞作 作品97-8 · 開

高7回卒 吉田 敦彦

この度創立百周年記念館のホールの壁面に展示させていただいた小生のアクリル絵の具による200号(260×194cm)の作品、一九九七年九月、上野都立美術館で開催

この表題を見ても何のことかと思われるかと思いますが、

二宮不二麿先生のご指導を受けて以来、日々と築き上げて来た自らの表現方式や制作理論にも自信を得てきていて、また丁度待望のアトリエの改修もできての第一作目で、我ながら自由で鮮かな表現が達成できたと思う作品でした。それがまた、その前年に亡くなられた大先達の名を冠した賞を受けたということで、また大きな自信とその後の展開につながることにもなった、記念的な作品です。

この作品の内容からも題名から見ても、未来に向けて羽ばたく若い後輩たちの学び舎にふさわしいと考え、寄贈を申し入れましたところ快くお引き受け頂き、母校の記念館の主要な壁面に飾って頂けましたことは、大変光栄なことです。また多様な可能性を秘めた青年達があの作品を見、何かを感じ取ってくれるので、表現者としての冥利に尽

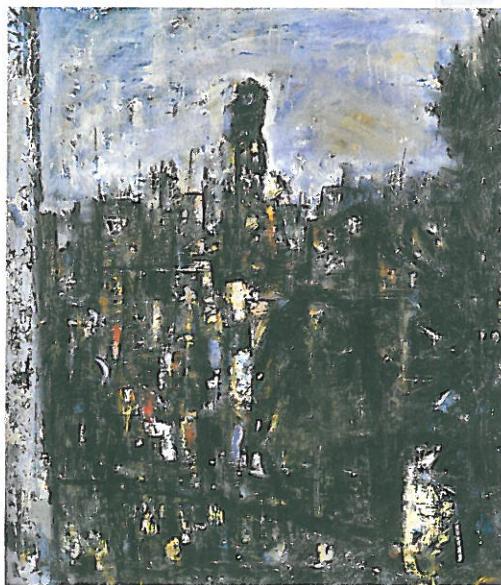
百周年記念で受賞作が寄贈

の第52回行動展において、向井潤吉賞を受賞した抽象絵画の題名です。

教職に有つて三十七年、退職後画業に専念できるようになつてしまもなく、学生時代に

なつてまもなく、二宮不二麿先生のご指導を受けて以来、日々と築き上げて来た自らの表現方式や制作理論にも自信を得てきていて、また丁度待望のアトリエの改修もできての第一作目で、我ながら自由で鮮かな表現が達成できたと思う作品でした。

「絵画には、その人の人間性や心の状態があらわれる」と言われる。この第21回河北美術展河北賞受賞作「街」は、私が二十一歳の時のものである。当時の私は、ガラスで作られたお城のように、壊れや



「街」
本校正面玄関に設置

第21回河北美術展・河北賞受賞作 「街」によせて

高6回卒 阿部 邦利

すい感性で満ちあふれていたように思う。毎日がブルーであり、自分というのに自信が持てず何かに追い立てられるような焦躁感に、唯徒にイララをつのらせていた。美しい絵を描きたいと思うより、

間の創造の活動です。解釈しようなどと思わず、あの画面の中に、人それぞれの自由な想像力を遊ばせながら、見入つて頂ければ幸いです。



描かざるを得ない欲求に庄されて描いていたようであった。そのようにして描かれた作品が、河北美術展の最高賞になつたとの知らせは、ただ驚きであつた。

私のこの作品について、河北新報の五回シリーズの記事「私と河北賞」の第一回目（平成六年三月三十一日付け）に掲載されている。記者は受賞作は、「きれいな」色で仕上げられた作品ではない。重く垂れこめた灰色の空。深い緑にくすんだ建物。この風景は、仙台駅の北側にあった「X橋」という陸橋から、町並みを眺めた構図になっている。その作品のモチーフ（題材）は、正確

にいえば実在している風景をそのまま写生したものではなく、その風景をヒントにして「私の心の中で作られた風景」なのである。以後私は、絵画というものとの関わりを続け今日に到っているが、私的人生の原点がここからはじまつていてるといつても過言ではない。審査員の山口薰（モダンアート協会、故人）の評は、「サンチマン（感性）がみず

く、その風景をヒントにして「私の心の中で作られた風景」などである。以後私は、絵画という現実を直視することの方が、大切のような気がするからである。新たな挑戦に向かって、心を踊らせて毎日である。

（2001・9・28 記す）

仙台駅西口前の広場に存在感豊かな彫刻がある。ペデストリアンデッキを通る沢山の通勤者、旅行者、市民の目を楽しませ、仙台の玄関口のシンボルとなっている。この彫刻は同窓の昆野恒氏（仙台二中33回卒）の精魂をかたむけた大作であり、「青葉の風」と命名されている。仙台駅工事のため一時収納されていた

が、昨年環境が整備された駅前広場に復活設置されたので紹介することとした。

約20年前、東北新幹線開業に伴って仙台駅西口広場に東北のシンボルとなる彫刻をおに制作依頼することを決定、

依頼を受けた昆野氏は、難しいロケーションの中に苦闘の末、見事な作品を創り上げた。制作途中から体調をこわし、完成後数年闘病の後、遂に不帰の客となり、この作品が最後の作となっている。仙台駅ペデストリアンデッキ上のパネルに氏の「青葉の風」への思いが記されている。

「光と水と風を得て、杜の木々と共に力強く伸びてゆく生命。」このイメージの具体化のために大地から盛り上がる豊かな

同窓の彫刻家紹介

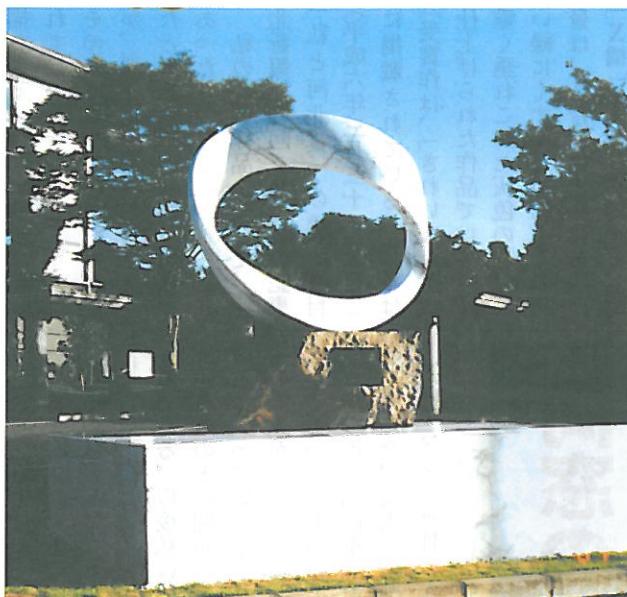
東北のシンボル彫刻 昆野 恒氏（中32回卒）
「青葉の風」仙台駅前に復活

昆野 恒氏（中32回卒）

氏は仙台二中卒業後、東京美術学校（現東京芸大）彫刻科に進み、同期には佐藤忠良、船越保武、井手則雄氏がいる。戦後の抽象彫刻のパイオニアとして知られている。母校西



「青葉の風」



朝の陽光に輝く「風の環」

同窓のローマ在住の彫刻家、武藤順九氏の作品が、本年六月仙台城跡の仙台国際センター前庭に設置された。

これは昨年武藤氏の作品「風の環 PAX 2000」が抽象彫刻としては初めてローマ法王宮殿に永久設置され、その彫刻の台座として仙台城石垣の石が使用され、平和と友好の記念碑として献納され

ましたが、今回仙台開府40年記念事業として同シリーズの作品が、国際会議、交流の拠点である母校に近い仙台国際センターに設置が実現した。武藤氏は高校20回卒業、東京芸大を卒業後ヨーロッパで修行、特にローマには25年在住し、近年抽象彫刻の分野で国際的に評価が高まっている。

何年か前に「フィールド・オブ・ドリーム」という旧きよき時代のアメリカ大リーグに関する心に残るアメリカ映画があった。私にとって仙台その世界なのである。

二中、野球部、甲子園は特に大戦争が終った後の昭和二十二年の夏、仙台二中は東北

代表として今も変わらぬ球児

のあこがれ甲子園へ出場し大健闘した。四十五年前のこ

とであり、あの焼土のなかか

ら日本が立ち上る時の夏の強烈な思い出——特に「つわものどもの夢の跡」である。

あの当時活躍された我々の

あこがれのヒーロー達にその後いろんなところでお会いしたのでその思い出を綴ってみたい。

南條さん
十一年くらい前仙台ロータリークラブでお会いした。あの川

代表として今も変わらぬ球児のあこがれ甲子園へ出場し大健闘した。四十五年前のこのとであり、あの焼土のなかから日本が立ち上る時の夏の強烈な思い出——特に「つわものどもの夢の跡」である。

あの当時活躍された我々の

あこがれのヒーロー達にその後いろんなところでお会いしたのでその思い出を綴ってみたい。

仙台国際センター前に設置

武藤順九氏（高20回卒）

会員短信

私の仙台二中野球部についての思い出

高3回卒 笹原信一郎

内グランドで激しいノック

をやってチームを鍛成された

南條監督である。ローテリー

の卓話で「大東亜戦争の思い

出」というのをやつたら、夜

の会で当時の昔話となり仙台

の生んだ海軍の名将「井上成

美伝」という本を南條さんか

ら贈られた。

二階堂さん（主戦投手）

昭和二十八、二十九年頃神

宮球場の応援席で再び見た。

立教大学の投手として例の華

麗なフォームでやってられた

のが再会であった。長嶋、杉浦

らが派手に活躍している六

大学リーグ戦時代であった。

昭和五十年頃、銀行でサッポ

ロビールを担当し、銀座の本

社で二階堂課長にお会いし、

当時の「ファン」として懐しい

思いをしたものだ。

佐藤千春さん（捕手）

東京新宿の住友ビルで在京

の仙台二中の会「北社会」という集りが月一回あった。昭和五十六、七年頃、そこでお会いしたが、早稲田大学教授になられた若い日の佐藤千春さんは、当時私共のアイドルであった。ピッチャーハンボールする時の独特のスナップスローは今でも目に浮かぶ。後日、ある結婚式の仲人として正面に座っておられたこともあり、いつまでも若々しい千春さんだった。

及川さん（二塁手）

昭和六十年頃、仙台の支店長をやっていた時、七十七銀行の支店長をやられ、カード会社の役員になっておられた

及川さんとゴルフ場でお会い

した。仙台二中の頃、私の親

友永野行雄君（㈱セント）が

及川さんと親しくて、及川二

塁手の現在使っているという

グローブをさわらせてもらつたことがある。良く磨いてあって柔らかく手がスッと入り、

ゴツゴツした感じが全く無くな

て流石だなという思い出があ

る。

永沢さん（一塁手）

背が高く大きい体でバットをロングに持ちスラッガーダ

た。私が仙台の支店長だった

頃、大学病院の向い側の永沢さんのスーパー店が焼炎にあわれた。お見舞にお酒を届けご挨拶をした。(昭和六十一年頃)

旗 照夫さん

(昭和五十年頃)

私共と同年代の旗さんは、当時仙台一中の野球の選手で、戦後初の一中対抗戦が激戦で戦でものすごいスコアで戦

話になり、戦後仙台一中から日比谷高へ転校されたいわゆる疎開組だったらしい。井上ひさし氏の「青葉繁れる」の時代の一中野球部員だったわ

けだ。

同期会だより

感激の卒業50周年同期会

高3回卒 高橋正道

昭和26年卒業同期会(高校3回)は今年が仙二高卒業五十周年に当たるので、これを記念して全国240余名によりびかけ10月27日(土)首都圏・隣県を含む約80名が参加(初の試みの夫人同伴11名)盛大に祝会が行われた。第一部は母校に集まり、正門の河合校長

住のヴァイオニスト柴生田桂子前で記念撮影、校内外見学後、新築の百周年記念「北陵館」ホールで恩師の金子五郎先生のお話を傾聴、その後校歌、応援歌などを齊唱し、しばし在校時の思い出にひたる一刻であった。会場を仙台ホーテルに移し、第二部は仙台在校のウアイオニスト柴生田桂

子さん・ピアノ古賀望子さんによるミニサロンコンサートで感性を蘇らせ、第三部祝宴に入り、その後の第四部隣接のサロンでの二次会まで五十

年の尽きない思い出に、時間を感じた語らいが続き、感激的な一日であった。翌日は有志11名でのゴルフコンペが行わ

す。小泉茂樹殿 中44回
(以上事務局判明分)
平成十三年秋叙勲
勳二等瑞宝章 多田啓也殿 高1回
勳四等瑞宝章 高7回 吉田敦彦殿
抽象絵画のすすめ デッサンのすすめ
大正天皇 アーロン収容所 中39回 熊谷芳博殿
放課後に見つけた答え 青春三十年 中46回 猪狩正昭殿
大塚甲山遺稿集第三巻 高27回 戸田慶三殿
現代総合科学教育大系全13巻 高5回 早坂明一郎殿
人生の幕間 中47回 杉本毅殿
免疫、その驚異のメカニズム 中40回 飛田昭三殿
光芒 中46回 青山史朗殿



母校での高3回卒業50周年記念写真

寄贈図書

日本列島の誕生
(同窓生より)
科学のすすめ

中46回

飛田昭三殿

中40回

青山史朗殿

殿

スポーツと芸術の社会学
中47回

杉本毅殿

中46回

高24回

鈴木孝殿

中世のみちと物流
中32回

高32回

竹田幸司殿

殿

殿

高24回

高24回

猪狩正昭殿

殿

殿

高24回

高24回

和田瑞穂殿

殿

殿

高24回

高24回

戸田慶三殿

殿

殿

高24回

高24回

大塚甲山遺稿集第三巻

殿

殿

高24回

高24回

戸田慶三殿

殿

殿

支部北陵だより

北海道支部だより

中43回卒 会長 若生幸一郎

母校が創立百周年を迎えた今年は、我が支部も、発足が昭和五十五年の夏ですから、数えて丁度二十周年、晴れて成人式を迎え、一人前になります。

手元にある昭和五十七年一月発行の名簿を開くと、氏名トップに、中・十一回今野利吉（九十二歳）勤務先欄には勲五等瑞宝章と記載、一番若い高・三十二回卒業まで、会員数百八十二名を数えることが出来ます。二十年経過したことになります。

十九名、当初の半数以下です。グローバリゼーションの奔流が渦巻く新しい世紀は、若い人々にとっては、もう日本国内では力余り、世界各地に飛躍している結果でしょう。

在京同窓会総会だより

高5回卒 幹事長 菅原正人

西暦2000年、在京同窓会の母校創立百周年記念行事も那須翔新会長のもと、恙なく終えられることができました。これも偏に、若手役員幹事の協力の賜と強く感じております。隔年の同窓会開催ではあります

ところが、会を重ねる度に、先輩後輩の絆が結集する素晴らしい

現在、同窓会には県外支部が八支部、県内支部が九支部の計十七支部がある。その現況については既に百周年記念事業の一環として発刊された「仙台一中・一高百年史」に掲載されているところであるが、ここに最新の各支部の現況について報告をいたいたので掲載する。

岩手北陵便り

中44回卒 会長 氏家和国

渡邊義之校長、石井敏夫副会長の両氏をお迎えし、十八回目の岩手北陵会を開催いたしました。ご臨席のお二方より百周年記念行事の支援に対し感謝がありました。また、

校長先生から母校の現状、将来像について、副会長さんからも同窓会の現況についてお話を伺いました。西沢潤一先生は一会员として参加され教育論、先覚者のエピソード、アメリカ高校視察談など含蓄のあるお話をしてくださいました。会員各位の自己紹介、

しかし人数は少なくとも、我が支部は意氣軒昂！ 今年は三月、百周年記念を肴に、美味しい料理の「すしの下倉」で飲み、七月には、名だたるプロ選手を散々悩ませた難関「札幌ベイゴルフ俱楽部」で自慢の腕を競い合って、黄金の団結？ を誇っています。

平成十三年一月二十七日、平成十三年一月二十七日、

その中にでてくる二中、二高校の話題に花が咲き楽しい夕べを過させていただきました。最後に、会員各位のご健勝、母校の弥栄を祈念し凱歌を歌って会を閉じました。出席者はつきの方々でした。

（敬称略）氏家和国（中44）・曾根久（中44）・西沢潤一（中44）・船渡坦（中45）・亀井悦也（中46）・及川正城（高1）・菊池昭雄（高2）・村守英男（高4）・鈴木恒男（高5）・宮沢雄一（高6）・田山典男（高14）・折居正之（高22）・橋浦礼一郎（高23）

菅原正人（元日本通運ノンプロ野球）、目黒克弘（西武球団高11回）が主体となり、プロ野球選手OBの賛同を得て、NPO法人野球振興ふるさと宮城プロ野球OB会を設立、

ふるさとの野球を夢見る小中学生および野球指導者との交流を通じて、野球の振興、普及活動を支援する目的で活躍することになりました。

同窓生の多くの活躍を披露するには紙面上、不可能で残念ですが、来年、開催する総会には、一人でも多くの諸兄

が参加できるよう各学年、各

役員幹事の苦労を察し、橋本副会長のホテルオーラーで、

ご苦労さん会を開いていただ

きました。

今後とも、同窓生諸氏の特

段のご協力を切にお願い致し

ます。

く聞こえますが、青山史朗氏主宰する北杜会が復活し、場所をホテルエドモント（常務取締役・黒須史朗氏・高14回）に移し、毎月、懇話会を開催しております。

又、前セントラル野球連盟・事務局長・渋澤良一（高2回）の音頭で、仙台一高野球関係者、佐藤隆輔（元NHKスポーツ・アナウンサー・高5回）、

菅原正人（元日本通運ノンプロ野球）、目黒克弘（西武球

団高11回）が主体となり、プロ野球選手OBの賛同を得て、

NPO法人野球振興ふるさと宮城プロ野球OB会を設立、

ふるさとの野球を夢見る小中学生および野球指導者との交

流を通じて、野球の振興、普

及活動を支援する目的で活躍

することになりました。

同窓生の多くの活躍を披露

するには紙面上、不可能で残

念ですが、来年、開催する総

会には、一人でも多くの諸兄

が参加できるよう各学年、各

役員幹事の苦労を察し、橋本副会長のホテルオーラーで、

ご苦労さん会を開いていただ

きました。

今後とも、同窓生諸氏の特

段のご協力を切にお願い致し

ます。

関西支部便り

高20回卒事務局長 齋精一

以下の悩みは、会員数の維持を如何にするかにある。関西地区に移って来られた同窓生の把握が出来ず、流出一方の状況に歯止めがかからない。そこで提案だが、転出した同窓生の落ち着き先が分かれば、地域の同窓会同士でその情報の交換を行ってはどうだろう。

転出、転入のバランスが取れるではと思うのだが。また増加策として、昨秋に渡邊前校長から「関西に在学中の卒業生も加えてみては」というご発案もあり、本年よりこの取り組みも始めた。二月の総

会には二名が参加（申込四名）してくれ、交流の輪が広がった。嬉しい限りである。今後も新入生を把握し、継続を図って行きたいと思う。

今秋十一月十七日（土）午後二時より、大阪十三の博愛

社で、宇野尚志関西国際大学教授（高6）のご講演を中心

に交流懇親会を開催。佐藤新

校長もご来駕の予定である。

O B三千円、学生千円の会費

で軽食が付く。参加ご希望者は事務局の齋（090-1096-6597）まで。

東海北陵会支部便り

高19回卒庶務幹事 野田理吉

昨年秋、創立百周年記念式典が盛大に挙行されたことは誠に喜ばしいことであつた。我が東海北陵会からも松田、岩田両代表幹事が参加し、その報告会を兼ねた為、恒例開催の秋を延期して、今年の

から松永副会長、白幡教頭先生をお招きし、百周年記念式典のお話を伺うと共に、記念式典には同窓会館の落成等がござ

広島支部便り

中40回卒会長 宇都善満

当支部は設立十二年になります。会員は二〇名です。会

合は二月末の土曜日で、場所

は広島で老舗の酔心料理店で

行なうことが決まっています。

醉心の若い社長が岩沼市出身だからです。二中二高の年の差は何のその、少年時代の友人、先生、学校や仙台近辺の思い出に花が咲き、親兄弟がお互いに知人だつたりします。

最後に校歌凱歌等の長い大合唱があります。母校の百周年行事には、当支部長

を含め三名が出席しました。この行事に熱意を燃やされた堀田前会長、至れり尽せりの計画運営を御世話された幹事と事務局の方々に、敬意と御礼を申し上げます。

平等と平和が御題目になつてゐるこの頃の日本ですが、私達同窓生は、学力に優れ、心身ともに鍛錬された人材を、

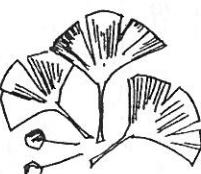
どんどん育成輩出しているのが我が母校であるとの誇りと期待を今でも持ち続けています。

亘理支部便り

高9回卒会長 山田芳広

亘理支部総会は毎年七月本

年は同窓会館の落成等がござ



いましたのでその報告を兼ねて秋（十一月中間）「はらこ飯」の時期に予定しております。毎度本部より石井副会長さん、校長先生、事務局からもご出席頂き、二〇名前後で和気藹々、楽しい一夜を過しております。本部役員の方々毎年本当にご苦労さまです。感謝しております。

本年は西澤新会長もご出席頂き、亘理名物「はらこ飯」をご笑味頂ければ幸いです。残念ですが亘理支部は学区制のため後輩が少なく三十五名程度ですが、毎年物故会員が数名出ております。小さな支部ですので大きなことも出来ませんが、毎年鳥の海高校駅伝参加の後輩たちに「飲物」をプレゼントしております。

亘理支部は、非常にまとまっていますが、このままでと継続していくのがむずかしいのがさびしい限りです。

角田支部便り

仙台二高角田支部のご報告
を致します。

数も現在では二十七名となつています。

高22回卒 事務局 湯村周一

の四季」そのものでした。) 平成十四年度からは、六月の第二金曜日に、定期的に総会を開催することとし、な

黒川支部便り （黒川北陵会）

中44回卒 会長塚本健治

（当地へ転入・転勤される方々からのご一報を心よりお待ちしております。）

沼仙氣便り

高8回卒 事務局長

いと考へて居ります。不景氣が続いてゐる昨今、北陵健児の力を結集し、英知を生かすための力を發揮する場を作りたいと念願して居ります。

年に一回、総会（事実上の懇親会）を開催し情報交換など会員の交流を深めておりましたが、学区制の関係で新規会員の加入が難しく、転勤者転入者に頼っているのが現状で

欠きません。そのせいか、総会（懇親会）は、常に予定時
間をオーバーが伝統となって
います。従来は、事務局の不
手際で、総会時期が不定期で
した。（繚乱の花香ばしい頃、或いは
薰る若葉に風清き頃、或いは
白雲遠く流れゆく頃等「北陵

高2回卒 支
当支部は年一回の総会と、
仙台一高石巻支部との合同同窓会を毎年初冬に行い、その連繋により地域社会への貢献と会員同士の融和を図ってい

る。母校の創立百年の記念事業も、成功裡に挙行された事に、敬意を表すると共に、吉部としても、特に若手会員の発掘による会員増強を行いた

初代斎藤会長から二代広野元司（中31回）会長に、そして三代小松利邦（中38回）会長となり現在に至っています。この間、二中二高会の集まりだけでなく仙台一中一高会と

岩沼会だより

名取道夫会長（中4回）
安藤祐介副会長（中45回）
もと、和氣藹々の雰囲気の中
で十二名でスタートした会員

旅の情華を集めて新規会員を増やすこと、近隣の支部との交流をはかることなどを考えております。

其の間一時中断していた時期
があった。平成十年五月に会
長福田一郎氏（中34回）の死

これからは各地の同窓会の情報を集め、若手の参加をふやして、同じ母校に学んだ者同士が黒川北陵会旗のもと

名で発足し、現在も約八十名の会員を擁しています。年に一回、総会（事実上の懇親会）を開催し情報交換など会員の交流を深めておりましたが、学区制の関係で新規会員の加入が難しく、転勤者転入者に頼っているのが現状で、白雲遠く流れゆく頃等「北陵

高21回卒 事務局 大友 荘市郎

石巻、桃生、牡鹿支部便り

高2回卒 支部長 千田宏之

年一回の総会と、各支部との合同同
地元に於いて、その貢献
の融和を図つてい

る。母校の創立百年の記念事業も、成功裡に挙行された事に、敬意を表すると共に、吉部としても、特に若手会員の発掘による会員増強を行いた

初代斎藤会長から二代広野元司（中31回）会長に、そして三代小松利邦（中38回）会長となり現在に至っています。この間、二中二高会の集まりだけでなく仙台一中一高会と

の交流会等も行つて来ました。

最近活動が停滞気味ですが、同窓の浅野知事が初当選した直後、当地で行われた大島知事当選の祝賀を兼ね盛大にマラソンに参加された折、又楽しい同窓会を開催する事が出来ました。

現在小松会長が仙台に移られ、次期会長が決っておりま

せんが、早急に会長人事他支部体制を整え、同窓会の親睦と共に地域の発展に役立つ活動を行つていただきたいと考えています。

山拓也君（四段）、澤村潤一

君（二段）、一年生風間宙文君（初段）で臨みました。第一回戦は四国香川県の高松高

と対戦、一勝一敗で勝利して順調に二回戦の和歌山北高と試合に進出しましたが、惜しくも一勝一敗で敗退し、当初の目標の三回戦進出はなりませんでした。

囲碁は、韓国では頭脳の訓練や、忍耐力と礼儀等の精神力修得の有効な手段として広く学校教育の中で採用されています。更に、中国では闘争性が高い性質から囲碁はスポーツ分野に置かれており、知識的かつ武道的な最高のゲームです。歴代優勝校には、筑波大附属駒場高校、開成高校、灘高校、洛南高校、ラサール高校等々、全国屈指の進学高校が名を連ねており、東大出身のプロ棋士も珍しくなく、最近では京都大医学部出身の医師からのプロ棋士への転身も話題になりました。「文武一道」の精神を具現化していきたいと思っております。

現役の活躍

今年度、母校仙台二高の現役生諸君は、「宮城国体」の弓道少年男子（メンバー三人のうち一人が本校生）において全国制覇を遂げた。また高等学校総合文化祭の将棋部門においては、全国四位という快挙を成し遂げた。このように現役生諸君は部活動においても頑張りを示しているが、ここに今年度、全国大会に歩を進めた部の全国大会での戦いぶりについて紹介してみる。

第25回全国高校囲碁選手権大会に参加して

囲碁部 顧問 早坂孝志

高校囲碁の全国大会が七月

二十四・二十五日の両日に、

東京ヶ谷の日本棋院で行わ

れ、仙台二高は宮城県代表校

として団体戦に参加して参りました。

囲碁の団体戦は三名一組で行われ、二高からは三年生泉

として団体戦に参加して参りました。今回参加には、同窓会から激励、お餞別を頂戴して心から感謝いたします。

高校最後の夏に懸ける

テニス部 顧問 小澤美保

八月五日、熊本で行われた

インターハイテニス競技に、

シングルス宮城県第一代表として三年の星山鎮秀が出場し

た。昨年度も岐阜で行われた大会に出場したが、満足な結果が出せなかつたため、今大会にかける本人の意気込み

「全国高校化学グランプリ2001」において、3年7組の佐藤太久真君が、銅賞を受賞いたしました。

今年は、全国20会場で第一次選考が7月21日に行われ、全国で900余名の高校生が



化学グランプリ

4年連続全国大会出場！

化学部 顧問 後藤順一

参加しました。本校生も東北大学理学部化学教室において、

27名（2年生5名、3年生22名）がチャレンジしました。

その結果、全国で60名が第一次選考を通過し、その中に佐藤君が入り、東京大学教養学部において8月25日に行われた第二次選考（実験）に臨みました。

そしてみごと銅賞を受賞したわけです。本校は4年連続での全国大会出場を果たしましたが、年々参加者が増加し厳しい状況です。その中の受賞は素晴らしい結果であり、来年以降もこの伝統を引き継ぎ頑張って欲しいのです。

は相当なものであった。
熊本は連日二十五度を越す暑さとの戦いでもあった。一回戦、二回戦と順調に勝ち進み、三回戦は第一シードを相手に熱戦を展開、相手を苦しめる場面もしばしば見せたが、惜しくも八一三で敗れた。結果として全国大会でベスト32という成績であった。目標はさらには高いところであったので、本人は悔しく思うところで、無くはなかったが、全国の

暑さとの戦いでもあった。一回戦、二回戦と順調に勝ち進み、三回戦は第一シードを相手に熱戦を展開、相手を苦しめる場面もしばしば見せたが、惜しくも八一三で敗れた。結果として全国大会でベスト32といふことを期待している。

や世界スーパージュニア選手権に出場し、宮城国体の代表選手としても七位入賞を果たすなど、大いに活躍をした。

今後も仙台二高星山鎮秀の活躍が様々な場面で見られることが多いと期待している。

将棋部、全国四位(団体)!

将棋部 顧問 日下毅

第25回全国高等学校総合文化祭(将棋部門)が、八月四・五日に福岡県総合福祉センターで行われ、仙台二高は、県代表として団体戦と個人戦に出場しました。

団体戦には、千葉格文(三年)・中居瑛太郎(二年)・及川亮太郎(二年)の三人が出場しました。一回戦は新潟高校(新潟)に二勝一敗、二回戦は佐野高校(栃木)に二勝一敗、三回戦は高松高校(香川)に二勝一敗と順調に勝ち進んできました。しかし、四回戦になると対戦校は全国の強豪

校になり、残念ながら藤枝明誠高校(静岡)には、一勝二敗で惜敗しました。

個人戦には、三浦雄一郎(三年)が出場し、一回戦の鶯谷高校(岐阜)には勝ちましたが、二回戦の高円高校(奈良)には惜しくも敗れ、三回戦進出はなりませんでした。

仙台二高は、三年連続して全国大会へ出場していますが、団体戦だけで個人戦の壁は厚いものがありました。しかし、今年は長年の目標であった団

し、さらに団体戦で第四位と生き生きとプレーする姿は自信に満ちており、他に引けを取らない素晴らしいものであった。

また全日本ジュニア選手権で堂々と、そして生き生きとプレーする姿は自信に満ちて、ここ数年の念願の上位進

し、さらに団体戦で第四位と生き生きとプレーする姿は自信に満ちて、ここ数年の念願の上位進をあげました。

宮城国体での正夢

弓道部 顧問 菅原孝之

尺八の音色で幽玄の世界に誘い込む「矢渡しの儀式」で始まった宮城国体弓道競技。

三浦櫻史(二年)が選抜チーム(三名)の一員として出場するため、私は大いなる期待を持ち、役員として参加していました。

近的予選は一人四射二立。二十四射二十中で難無く通過し、決勝トーナメントへ進出。準々決勝は対長野戦、9対7で勝利。三浦は十二射十一中とすこぶる快調。準決勝は静岡と対戦。苦しいスタートを切ったが、後半皆中で追いつき9対9。一人一射の同中競射にもつれ込んだ。大きな山であった。三人皆中で3対2で勝利。「これで逆に気が楽になつた。負ける気はしなかつた」と三浦の弁。

顧問にすばらしい正夢を見せてくれた国体であった。

宮城国体(水球)六位の活躍

水泳部 顧問 石井康宏

去る九月八日・十一日に第56回宮城夏季国体が開催され、本校水泳部からも四名の選手が選ばれました。一年の葛西陽介君が競泳競技少年B四〇〇Mリレーに、三年の

湊敬道君、境智史君、二瓶公

水球競技では、宮城県選抜チームが放たれ戦いが始まった。

そして、強豪熊本との決勝戦。静寂の射場から一本の矢

が放たれ戦いが始まった。



校内幹事

役職	氏名	回期	教科	〒	住所	電話番号
事務局長	奥山 春雄	高14	国語	981-0942	仙台市青葉区貝ヶ森1-25-8	022-279-3281
幹事	須藤 亨	高24	理科	982-0825	仙台市太白区西の平2-13-18	022-244-5192
幹事	戸田 慶三	高27	理科	989-3201	仙台市青葉区国見ヶ丘1-17-6	022-277-9905
幹事	藤木 雅之	高27	数学	985-0863	多賀城市東田中2-33-8	022-368-0336
幹事	杉内 宏行	高28	数学	983-0821	仙台市宮城野区岩切字三所北119-1	022-255-6529
幹事	石井 康宏	高31	保健体育	981-0135	宮城郡利府町菅谷台2-5-6	022-356-3149
幹事	遠藤 吉夫	高31	国語	981-0123	宮城郡利府町沢乙字深山87-4 I-101	022-767-2822
幹事	森 俊之	高31	英語	989-3204	仙台市青葉区南吉成5-6-4-C202	022-277-4572
幹事	和賀 久佳	高32	国語	981-3102	仙台市泉区向陽台5-19-2	022-371-8543
幹事	谷藤 正樹	高32	地歴	981-3332	黒川郡富谷町明石台3-16-1	022-351-2705
幹事	後藤 順一	高33	理科	983-0826	仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-24-36	022-253-3768
幹事	嶺岸 盛	高33	英語	980-0022	仙台市泉区向陽台5-19-2	022-263-4630
幹事	櫻井 知大	高40	公民	989-1216	柴田郡大河原町幸町2-11-103	0224-53-1351

ムは柴田高校の選手が中心のチームで二高生の出場機会は多くはありませんでしたが二高生の試合の流れを変える活躍で勝利に貢献してくれました。その結果、宮城県の水球競技で初めて、国体六位入賞を果しました。

出場した選手四名は自分の力を充分に發揮してくれました。そして、地元の宮城国体に出場できたことを光栄に思つ

ています。
今後、二高水泳部がこれ以上活動が出来るように頑張っていきたいと思います。

事務局体制

事務局長 奥山 春雄

ここには本校同窓会の事務局体制について記してみる。

事務局の仕事の多くは実質的である。
（一）二二一一五六二六）の方へ、事務局林へ連絡のある場合は、（二）二二一一五六五一までご連絡いただきたい。なお事務局はこれまで二高の資料室にあつたが、百周年記念館が完成したので、まもなく記念館内に移る予定である。

また、校内には二高出身の教員が十四名在籍し、校内幹事として必要に応じ、事務局の仕事を手伝つてもらっている。代表的な仕事を挙げると同窓会報担当は遠藤吉夫（国語・高31回）、百年史・資料回）、コンピューター担当は森俊之（英語・高31回）等であり、その他の教員にも隨時、協力してもらい、特に同窓会総会常任委員会、PTA同窓会合同懇親会の際には全員総出で会を運営している。

いざれにしても記念館が完成した現在、事務局体制も今後、若干の変動が生じるがそれについては今後機会を見て

ます。

◆転退職なされた先生方◆
渡邊 義之
(仙台教育事務所)
池田 明郎
(地歴公民)
高橋孝太郎
(ご退職)
栗原 誠一
(数学)
吉田 邦子
(事務主幹)
横田 一秀
(教諭(英語))
長岡 潤一
(藏王高教頭)
白幡 勝美
(角田女子高教頭)
白幡 勝美
(鼎が浦高等学校校長)
吉田 邦子
(仙台向山高教頭)
内田 知子
(家庭)
横田 一秀
(仙台向山高教頭)
内田 知子
(仙台向山高教頭)
横田 一秀
(仙台向山高教頭)
大宮司 静子
(仙台市立田子小学校主任)
早坂 佳明
(大河原教育事務所事務次長)
内田 知子
(仙台向山高教頭)
大宮司 静子
(仙台市立田子小学校主任)
早坂 佳明
(大河原教育事務所事務次長)
内田 知子
(仙台向山高教頭)
横田 一秀
(仙台向山高教頭)

◆新たに赴任された先生方◆
佐藤 三之
(教頭)
千田 芳文
(名取高教頭)
三浦 勇
(研修センターエンジニア)
佐藤 三之
(宮城県教育庁校長)

その後、学校当局の適切な対応により、被害額が全額返済されておりますことを併せてご報告いたします。

今後、百周年事業の総括決算について厳しく監査を行うことは勿論、学校事務当局と一緒に緊張した事務折衝を行

い、再発防止に努めてまいります。

仙台二高同窓会本部

● 学校職員経費不正処理について

去る七月五日河北新報紙上

に、仙台二高の百周年記念事

業費について元職員による不

正処理疑惑の記事が掲載され、

その後各紙に関係記事がとりあげられました。不名誉な報

道により同窓諸兄に多大なご迷惑をおかけすることになり

迷惑をおかけすることになり

誠に申し訳なく心からお詫び

申し上げます。

この事件は学校事務職員による経費の不正処理であり、同窓会には一切関係がなく多

数の会員からお寄せ頂いた淨財については被害も皆無であつたことをご報告いたします。

同窓会の経理処理及び百周

年寄付金の会計についても完

璧・適正な処理が行われてお

ります。

その後、学校当局の適切な

対応により、被害額が全額返

済されておりますことを併せ

てご報告いたします。

今後、百周年事業の総括決

算について厳しく監査を行

うことは勿論、学校事務当局と

の間に緊張した事務折衝を行

うことは勿論、学校事務当局と

の間に緊張した事務折衝を行

うことは勿論、学校事務当局と

の間に緊張した事務折衝を行

うことは勿論、学校事務当局と

の間に緊張した事務折衝を行

うことは勿論、学校事務当局と

の間に緊張した事務折衝を行

うことは勿論、学校事務当局と

の間に緊張した事務折衝を行

人事異動



昭和五十六年（一九八一年）設立以来二十年一回の例会を行い、多数の同窓講師による勉強会と同窓先輩・後輩の異業種交流を目的に運営されてきた北陵会は九月二十一

日の総会をもって一時休会することになりました。

今後の運営については、新世纪らしい新鮮な見直しが必要との認識から、若手世話人が中心となって広く意見を聞き、継続発展させるための議論を行い結論を出すことになりました。

休会前最後の総会は、勝山館で行われ、七十余名の会員が出席し、記念講演は「二十一世紀は心と知の時代」と題して、ホテルオークラ常任顧問、橋本保雄氏（高校3回卒）によって行われました。来賓として母校から佐藤校長、千田教頭をお迎えし、常時例会

高14回卒幹事 阿羅 健一

在北社会の勉強会である「北社会」は、青山史朗（中40回）先輩の呼びかけで昭和五十年に始まり、平成十一年までつづきました。

しかし、「北社会」をもう一度、という声がおこり、本年一月再発足することとなりました。

ほぼ毎月開催しており、再発足後の講師と演題は次の通りです。

一月—再発足のお祝いと新年会を兼ねた懇親会
二月—中鉢良治氏（高18回）、ソニー・レコーエイジングカンパニー・プレジデント」「IT時代におけるバラダイムシフト」
三月—武藤順九氏（高20回）

仙台二中・二高北陵会一時休会 早期再開に期待と支援を！

小澤 美保 教諭（保育家庭）
石川 昌之 教諭（公民）
（塩釜女子高）
（米山高）

西村 浩一 講師（保育）
（筑波大学）
阿部 一 講師（化学）
（宮城県図書館）
小川 民美 主事
（鶴ヶ谷養護学校）

能登美樹子 教諭（英語）
（富谷高）
山口 晴永 教諭（数学）
（宮城野高）

生出 俊治 主任主査
（富谷高）
菊地喜和子 主任主査
（宮城県図書館）
小川 民美 主事
（石巻女子高）
西村 浩一 講師（保育）
（筑波大学）

出席の会員の他、浅野知事、日野市朗代議士ほか休会を惜しむ会員が参加、今後を支える若手世話を励ましのエー

ルが送られました。
再開への期待とご支援を切にお願いします。（高橋正道）

朝日新聞論説委員）
五月—平朝彦氏（高17回、東京大学海洋研究所教授）
「深海掘削船で地球の謎に挑む」
六月—高任和夫氏（高17回、作家）「私の会った中高年ベンチャーリー」
七月—大高美貴さん（部外者、作家）「シリクロードがむしゃら紀行」
八月—堤堯氏（高11回、元伊藤忠商事アフリカ総支配人）「アフリカと日本」
九月—原芳道氏（高7回、元文芸春秋常務・文芸春秋編集長）「私の出会った人々」
十月—海老名卓三郎氏（高11回、宮城県立がんセンター研究所・部長）「がんと共生しよう」

（私の世界観・宇宙観）
四月—田部康喜氏（高25回、

（富谷高）
（宮城野高）
（柴田農林高）
（塩釜女子高）
（米山高）

（鶴ヶ谷養護学校）
（宮城県図書館）
（石巻女子高）
（筑波大学）

北杜会再開

高14回卒幹事 阿羅 健一



わたり、常務取締役・総支配人

画家・彫刻家（滞欧二十八八年）

（私の世界観・宇宙観）
四月—田部康喜氏（高25回、
（富谷高）
（宮城野高）
（柴田農林高）
（塩釜女子高）
（米山高）

（鶴ヶ谷養護学校）
（宮城県図書館）
（石巻女子高）
（筑波大学）

部活動の成果

学芸部成績(平成13年3月まで)

部名	成績	部名	成績
美術部	第51回仙台市立高等学校美術展(宮城県美術館県民ギャラリー)7点出品 2年 菊地 邦仁「species」優秀賞 2年 高橋 謙「静物」優秀賞 第53回宮城県高等学校美術展(宮城県美術館県民ギャラリー)3点出品 2年 菊地 邦仁「セビア」優秀賞 2年 高橋 謙「手紙」優秀賞 1年 鈴木 崇仁「隠す間と不自然な自然」優秀賞	囲碁部	第1回高文速9路棋大会 2位 泉山 拓也 3位 潤村 潤一 第14回東北地区高校囲碁選手権大会 宮城県予選(主将泉山、副将澤村) 第24回全国高等学校囲碁選手権県大会 団体3位 第24回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 男子個人戦(宮城県代表) 2年 泉山 拓也 出場 第18回宮城県高等学校囲碁新人大会 優勝 泉山 拓也
写真部	第7回宮城県高等学校写真展 3年 鈴木 健太「名工」入選 「異次元の世界」佳作 写真集「みやぎ高校画報」編集	社会部	第44回宮城県高等学校社会科生徒研究発表会 優秀賞 「隣々の遊びにおける家庭と三歳」 2年 白井 良知 1年 速水 史郎
物理部	第53回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「フレネルホログラムについて」	将棋愛好会	第36回全国高校将棋選手権大会宮城県予選 団体戦 Aチーム(佐藤・小久保・森)優勝 Bチーム(白川・鈴木・三浦)第2位 Cチーム(堀川・千葉・及川)第3位 個人戦 Aクラス 第3位 中居瑛太郎 Bクラス 第1位 能登谷類 第3位 黒川 章 第36回全国高校将棋選手権大会 団体戦(佐藤・小久保・森) 1回戦 二高3-0 安芸(高知) 2回戦 二高2-1 奈良学園(奈良) 3回戦 二高3-2 慶應義塾本校(埼玉) (ベスト16)
化学部	第53回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「染色の仕組み」 2年 黒川 章 「広瀬川本・支流における硬度測定と地質的考察」 2年 小泉 論 「マイクロスケールによる滴定実験」 2年 佐藤 喜則・早坂	生物部	第3回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「川の自然浄化のしくみを探る」 2年 上原 啓示・亀岡 鮎平 1年 渡辺 宏弥
地学部	第53回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「主要流星群の出現状況」「二高地学部合宿 in 長野2000」 藤田・村田・相澤・早坂・佐々木健・安達・星・都丸	吹奏楽部	全日本吹奏楽コンクール予選 青葉・良地学部会 小編成の部 銀賞 アンサンブルコンテスト宮城県大会予選 仙台青葉支部大会 木管4重奏 銀賞 宮城県管・打楽器ソロコンテスト東北大会 3年 フルート 松崎 美介 銀賞 全日本吹奏楽指導者協会東北支部主催 第9回管・打楽器ソロコンテスト 3年 サキスフーン 川又 大暉 金賞 3年 フルート 松崎 美介 銀賞 2年 トランペット 渡辺 知也 銀賞
書道部	第49回高校書道展覧会 入賞 3年 千田光平・平木明和 1年 佐藤弘樹・橋本尚平・長谷部弘毅・山口浩平 青木暉二・森 俊介・渡辺俊文・細野史帆		

運動部成績

大会名 部名	平成12年度		平成13年度		大会名 部名	平成12年度		平成13年度	
	新人大会	定期戦	総合体育大会	定期戦		新人大会	定期戦	総合体育大会	
陸上競技部	110MH 小川 4位 走り幅跳び 小林 6位		110MH 小川 3位 (東北大会出場)						100M自由形 6位 200M自由形 6位 200M背泳ぎ 8位 200M平泳ぎ 8位 100Mバタフライ 8位 200Mバタフライ 6位 400MR 7位 (連座・澤藤・柴田・葛西) 400R 6位 (葛西・芳沢・柴田・遠藤) 800R 5位 (葛西・澤藤・柴田・遠藤) 水球部 総合 6位 仙台二対柴田 2対28 負け 得点者(境・淡)
硬式野球部	県大会 1回戦 仙二2-6利府	引き分け	選手権宮城大会 2回戦 仙二2-1築館 3回戦 仙二3-0東北学院						
軟式野球部	1回戦 仙台二3-11東北学院	勝ち	1回戦 仙台二3-4仙台一						
バレーボール部	2回戦 仙台二2-0石巻商 3回戦 仙台二2-1東北学院 4回戦 仙台二0-2仙台商	勝ち	2回戦 仙台二2-0宮城工 3回戦 仙台二2-1石巻商 4回戦 仙台二0-2東北						
バスケットボール部	2回戦 仙台二10-46中新田 3回戦 仙台二68-83仙台商	負け	1回戦 仙台二73-58仙川商 2回戦 仙台二47-80仙台						
サッカー部	予選 仙台二2-0仙 仙台二1-0塙大 仙台二2-0工 仙台二6-0登米 仙台二5-0氣仙沼 準々決 仙台二0-0育英 6PK 5 準決 仙台二1-1名取北 2PK 4		準々決勝 仙台二3-2古川 準決勝 仙台二0-4東北 3位決定戦 仙台二1-0名取北 東北大会 1回戦 仙台二2-1盛岡商 準々決勝 仙台二0-1山形中央 (ベスト8)						
ラグビー部	Bブロック12人制2位 仙台二39-0栄田 仙台二5-47宮城高専	引き分け	Bブロック12人制優勝 仙台二40-0仙台			FJ級ソロ 第11位			FJ級デュエット(学校対抗) 6位 (東北大会出場)
ハンドボール部	1回戦 仙台二22-5佐沼 2回戦 仙台二11-16仙台向山		1回戦 仙台二15-13泉山 2回戦 仙台二17-14古川 準々決勝 仙台二18-富谷			山岳部 12位 (3年ぶりの出場)			12位
卓球部	団体 2回戦 仙台二3-0気仙沼 3回戦 仙台二0-3育英		団体 2回戦 仙台二1-3登米			フェンシング部 団体 1回戦 仙台二5-4工大高 2回戦 仙台二0-5仙台三 個人 2回戦 藤島			団体 1回戦 仙台二0-5育英
バドミントン部	団体 2回戦 仙台二3-1米山 3回戦 仙台二2-3仙台東 個人单 ベスト32 草 個人複 ベスト32 草・池田		団体 1回戦 仙台二3-0仙台 2回戦 仙台二2-0岩出山 3回戦 仙台二1-3東北			剣道部 団体予選リーグ 仙台二2-1佐沼 仙台二4-5富谷 団体決勝トーナメント 1回戦 仙台二1-2多賀城 個人 3回戦 手嶋 ベスト16			
硬式テニス部	団体 優勝 (2年連続) 決勝リーグ 仙台二3-2東陵 仙台二3-2東北 仙台二3-2東北学院 個人单 優勝 星山 個人複 優勝 星山・河田 東北選抜大会 ベスト8 準々決勝 仙台二1-3相馬		団体 3位 (東北大会出場) 2回戦 仙台二2-0西山 3回戦 仙台二2-0仙台三 準々決勝 仙台二2-0宮城高専 準決勝 仙台二1-2東陵 優勝 星山			スキー部 団体予選リーグ 仙台二1-3石巻 仙台二4-4氣仙沼 決勝トーナメント 1回戦 仙台二0-4米谷工			
						弓道部 個人 6位 小野寺			弓道部 個人 6位 小野寺
						ソフテニス部 団体 ベスト8 1回戦 仙台二2-1佐沼 2回戦 仙台二2-0小平田農 3回戦 仙台二2-0白石工 準々決勝 仙台二1-2石巻商			ソフテニス部 団体 ベスト8 1回戦 仙台二0-伊具 2回戦 仙台二2-1氣仙沼 3回戦 仙台二2-0宮城高専 準々決勝 仙台二2-東北
						体操部			体操部 種目別規定 鉄棒 1位 (9.50) 関

平成12年度・13年度の大学入試合格状況

() 内は現役内数

年度別 大 学		12年3月	13年3月
		合 格 数	合 格 数
国 立 大 学		192 (99)	210 (117)
公 立 大 学		17 (10)	17 (10)
私 立 大 学		355 (98)	297 (76)
準 大 学		10 (3)	6 (1)
そ の 他 の 大 学		5 (5)	7 (6)
総 計		579 (215)	537 (210)
北 海 道 大		3 (1)	8 (4)
旭 川 医 科 大		2 (0)	
東 北 大 学	文	4 (0)	5 (4)
	教	2 (2)	1 (1)
	法	8 (4)	10 (9)
	経	19 (12)	10 (4)
	理	8 (4)	14 (8)
	工	37 (21)	31 (21)
	医	6 (1)	7 (1)
	歯	2 (1)	1 (0)
	薬	1 (0)	3 (2)
	農	5 (2)	7 (5)
小 計		92 (47)	89 (55)
宮 城 教 育 大		2 (2)	5 (3)
弘 前 大		4 (0)	1 (0)
岩 手 大		5 (2)	5 (2)
秋 田 大		1 (1)	5 (3)
山 形 大		13 (7)	18 (11)
福 島 大		5 (1)	2 (2)
茨 城 大		2 (0)	
図 書 館 情 報 大			1 (0)
筑 波 大		6 (6)	8 (6)
宇 都 宮 大		1 (0)	1 (0)
埼 玉 大		1 (1)	6 (3)
千 叶 大		7 (2)	3 (2)
東 京 大		6 (4)	12 (7)
東 京 外 語 大			2 (2)
東 京 学 芸 大		1 (1)	2 (2)
東 京 農 工 大		5 (1)	2 (1)
東 京 工 業 大		2 (0)	3 (1)
電 気 通 信 大		1 (1)	3 (1)
一 橋 大		5 (4)	6 (3)
横 浜 国 立 大		8 (7)	9 (4)
新 潟 大		2 (1)	2 (0)
金 沢 大			1 (0)
山 梨 医 科 大			1 (0)
信 州 大		3 (2)	
静 岡 大		2 (0)	
名 古 屋 大			1 (0)
名 古 屋 工 業 大			1 (1)
京 都 大		9 (6)	7 (3)
大 阪 大			1 (0)
大 阪 外 語 大		1 (1)	
神 戸 大			1 (1)

年度別 大 学		12年2月	13年3月
		合 格 数	合 格 数
國 立 大 学	廣 島 大		1 (0)
	高 知 大	1 (1)	
	九 州 大	1 (0)	2 (0)
	佐 賀 大		1 (0)
	鹿 児 島 大	1 (0)	
	國立大学合計	192 (99)	210 (117)
	宮 城 大	5 (5)	3 (2)
	岩 手 県 立 大	2 (2)	
	秋 田 県 立 大		1 (1)
	會 津 大	1 (1)	1 (1)
公 立 大 学	福 島 県 医 科 大		2 (0)
	高 峰 経 済 大	1 (0)	2 (2)
	東 京 都 立 大	4 (1)	5 (3)
	横 浜 市 立 大	1 (0)	2 (1)
	靜 岡 県 立 大	1 (0)	1 (0)
	京 都 県 立 大	1 (1)	
	岡 山 県 立 大	1 (0)	
	公立大学合計	17 (10)	17 (10)
	氣 象 大 学 校	1 (0)	2 (0)
	防 衛 大 学 校	8 (2)	2 (1)
準 大 学	防衛医科大学校		2 (0)
	海上保安大学校	1 (1)	
	準 大 学 校 合 計	10 (3)	6 (1)
	岩 手 医 科 大	1 (0)	1 (0)
	石 卷 専 修 大		1 (0)
	東 北 学 院 大	36 (18)	16 (6)
	東 北 工 業 大		
	東 北 生 活 文 化 大	1 (1)	
	東 北 福 祉 大	3 (3)	
	東 北 文 化 学 園		
私 立 大 学	東 北 薬 科 大		1 (1)
	東 北 芸 術 工 科 大		1 (0)
	奥 羽 大		1 (0)
	国 際 医 療 福 祉 大	1 (0)	
	自 治 医 科 大	1 (0)	
	文 星 芸 術 大	1 (1)	
	埼 玉 医 科 大	1 (0)	1 (0)
	尚 美 学 園 大	1 (1)	
	東 京 国 際 大	1 (0)	
	獨 協 大	1 (1)	
大 学	文 教 大		2 (2)
	明 海 大	1 (0)	
	青 山 学 院 大	10 (4)	2 (1)
	亞 細 亞 大		1 (0)
	桜 美 林 大		2 (0)
	嘉 悅 大		1 (0)
	学 習 院 大	2 (1)	1 (0)
	北 里 大	3 (0)	1 (1)
	慶 応 義 塾 大	20 (9)	30 (17)
	工 学 院 大	3 (0)	

年度別 大 学		12年3月	13年3月
		合 格 数	合 格 数
国 学 院 大		2 (1)	
国 際 基 督 教 大		1 (0)	1 (0)
国 士 館 大		1 (1)	
駒 澤 大			1 (0)
芝 浦 工 業 大		10 (1)	19 (1)
上 智 大		1 (0)	8 (2)
昭 和 大			1 (0)
成 蹤 大		1 (0)	1 (0)
成 城 大		1 (0)	1 (0)
専 修 大		2 (0)	3 (1)
創 価 大		1 (1)	
大 正 大		1 (0)	
大 東 文 化 大			1 (0)
拓 極 大		1 (0)	
玉 川 大		1 (0)	
中 央 大		35 (12)	21 (8)
東 海 大		2 (1)	
東 京 音 楽 大		1 (1)	1 (1)
東 京 経 済 大		3 (0)	
東 京 工 科 大			1 (0)
東 京 工 芸 大			3 (0)
東 京 電 気 大		1 (0)	5 (0)
東 京 農 業 大		10 (1)	4 (0)
東 京 薬 科 大		3 (0)	1 (0)
東 京 理 科 大		37 (8)	33 (7)
東 邦 大		4 (0)	1 (0)
東 洋 大		3 (0)	2 (0)
日 本 大		11 (3)	14 (3)
日本獣医畜産大		1 (0)	
法 政 大		13 (3)	5 (3)
武 藏 工 業 大		1 (1)	
明 治 大		26 (3)	25 (2)
明 治 学 院 大		5 (0)	2 (0)
立 教 大		8 (3)	5 (3)
和 光 大		1 (1)	
早 稲 田 大		41 (12)	44 (12)
神 奈 川 大		6 (0)	2 (0)
関 東 学 院 大			1 (0)
聖 マ リ ア ッ ナ 医 科 大			1 (0)
桐 蕪 橋 浜 大		1 (0)	
金 沢 医 科 大		1 (0)	
豊 田 工 業 大			1 (1)
南 山 大		1 (0)	1 (0)
京 都 産 業 大		1 (0)	
同 志 社 大		12 (2)	8 (0)
立 命 館 大		15 (4)	16 (4)
関 西 大			1 (0)
近 繩 大		1 (0)	1 (0)
西南 学 院 大		1 (0)	
私立 大学 計		355 (98)	297 (76)

同窓会会報の「会員短信（仮称）」寄稿の募集

母校仙台二高の百周年記念事業は会員諸兄のご支援によって、大成功をおさめました。さて、21世紀の同窓会会報の新企画として「会員短信（仮称）」欄を新設いたします。より多くの会員に紙上参加をしていただきたいと願っております。

1. 原稿字数 200字（最大超過50字 更に超過する場合はご相談下さい。）

①原稿用紙に書いてください。

②1行の見出しをつけてください（12字以内）

2. 締切り 每年9月30日

3. 他の掲載事項 ①氏名 ②卒業回期

③顔写真 掲載可能です

④連絡先 電話・FAX・E-mailのいずれか

⑤勤務先 記載可能な場合は文章末尾に（ ）して記入。

4. 送付先 〒980-8631

仙台市青葉区川内瀬橋通1

宮城県仙台第二高等学校同窓会 会報担当 宛

TEL 022-251-5651（月・水・金 15時迄）

5. テーマの例

母校の思い出	グループ活動のこと	マイビジネス	恩師の思い出
同窓会への要望	マイホビー	友人の思い出	母校への要望
最近思うこと	部活の思い出	後輩への要望	社会への提言 etc

6. その他 同期会、部活のOB会など写真を添えてご寄稿ください。

字数は250字以内でお願いいたします。

この三年間、「同窓会総会」にご出席いた
だいた皆様には葉書によるご
案内を差し上げますが、それ
以外の方で出席をご希望の方
は同窓会担当の教員奥山まで
ご連絡下さい。
二高 一二一一五六二六
11/30 10/17 9/8
（以上事務局判明分）
吉田潤弥殿 中46回
古川欽一殿 中46回
沢口和男殿 中46回
（心からご冥福をお祈り申し上
げます。）

計報

平成十四年の「PTA同窓会合同新年懇親会」は以下の
日程で行われます。是非とも
多くの皆様のご出席をお願い
申し上げます。

日時 平成十四年
一月十七日（木）

六時二〇分

会場 駅前「仙台ホテル」
会費 五〇〇円

この三年間、「同窓会総会」
にご出席いた
だいた皆様には葉書によるご
案内を差し上げますが、それ
以外の方で出席をご希望の方
は同窓会担当の教員奥山まで
ご連絡下さい。

同窓生諸氏の活躍について
は、このように今後「短信」
等でどんどんとりあげたいの
で、どうか事務局まで一報を
いただきたい。

今回の号もたくさんの方々
からご協力をいたいた。厚
く感謝申し上げるとともに、
より一層のご協力を心からお
願いする次第である。

（遠藤
吉夫
高31回）

「PTA同窓会合同新年懇親会」のお知らせ

百周年記念館、通称「北陵
館」がついに完成し、利用が
始った。これも大変喜ばし
いことだが、つい先日、本校
卒業生で早稲田大学野球部で
活躍していた江尻投手の日本
ハム入団内定というニュース
が飛び込んできた。従来のド
ラフト制からすれば、一位相
当での入団内定である。これ
また今年のビッグニュースで、
大変喜ばしいことである。

東京六大学やノンプロに幾
多の名選手を輩出してきた伝
統ある本校硬式野球部でも、
プロ野球選手は初めてで、江
尻投手の来季からの活躍が期
待される。ぜひ来年度の同窓
会報でも江尻投手の活躍を大
きくとりあげたい。

編集後記

百周年記念事業募金ご協力ありがとうございました！

募金総額 ￥132,888,783

平成10年7月からスタートいたしました母校仙台二高百周年記念事業募金につきましては、同窓会会員、関係法人、PTA、学校職員など多数の方から暖かいご理解とご支援をいただきましたことに心から感謝と御礼を申し上げます。本年9月末日をもちまして、記念事業募金を終了させていただきます。下記の通りすべての募金内容を掲載させていただきます。

創立100周年記念事業募金集計表

(平成13年9月30日現在)

¥3,000,000 以上	¥2,000,000 以上	¥1,000,000 以上	¥500,000 以上	¥300,000 以上	¥200,000 以上	¥100,000 以上	¥50,000 以上	¥30,000 以上	¥30,000 未満	小計	法人	協賛先	合計
1	2	3	10	16	14	69	221	1,943	547	2,826	59	33	2,918

創立100周年記念募金回期毎集計表

(平成13年9月30日現在)

回期	件数	寄附金	回期	件数	寄附金	回期	件数	寄附金
中27回	3	¥230,000	高05回	92	¥3,053,000	高30回	21	¥540,000
中28回	3	¥110,000	高06回	113	¥4,799,440	高31回	14	¥370,000
中29回	6	¥190,000	高07回	82	¥3,117,333	高32回	16	¥480,000
中30回	7	¥210,000	高08回	91	¥3,037,000	高33回	15	¥373,000
中31回	10	¥325,730	高09回	94	¥4,427,700	高34回	12	¥218,600
中32回	12	¥3,290,000	高10回	102	¥3,243,600	高35回	13	¥576,000
中33回	19	¥530,000	高11回	89	¥2,700,400	高36回	13	¥325,000
中34回	21	¥3,602,000	高12回	60	¥2,535,000	高37回	13	¥518,000
中35回	25	¥853,000	高13回	57	¥1,785,000	高38回	11	¥223,000
中36回	20	¥750,600	高14回	79	¥2,605,000	高39回	14	¥291,000
中37回	29	¥903,000	高15回	45	¥1,280,000	高40回	20	¥457,200
中38回	27	¥1,098,000	高16回	38	¥1,210,000	高41回	12	¥245,000
中39回	44	¥1,680,000	高17回	62	¥1,740,000	高42回	12	¥213,000
中40回	43	¥2,400,000	高18回	50	¥1,810,000	高43回	19	¥423,000
中41回	54	¥1,720,000	高19回	35	¥1,031,000	高44回	15	¥382,000
中42回	43	¥2,080,000	高20回	33	¥895,000	高45回	21	¥330,000
中43回	51	¥1,739,200	高21回	40	¥1,253,600	高46回	17	¥262,000
中44回	67	¥5,236,000	高22回	37	¥1,150,000	高47回	23	¥504,600
中45回	59	¥2,551,300	高23回	32	¥1,200,000	高48回	18	¥364,000
中46回	71	¥2,612,000	高24回	20	¥550,000	高49回	30	¥505,000
中47回	75	¥3,657,000	高25回	22	¥632,000	高50回	45	¥956,680
高01回	79	¥2,675,000	高26回	33	¥905,000			
高02回	84	¥3,725,200	高27回	19	¥485,000			
高03回	104	¥3,658,000	高28回	37	¥1,033,000			
高04回	117	¥6,180,600	高29回	17	¥382,000			
						合計	2826	¥107,423,783